同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

②同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん
ニライ みらい

2019年（平成31年）２月号
No. 371
発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831番地1　沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205㈹　FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

21世紀に輝く No.178

健康で長く生活できることが本当の幸せ

多世代が交流できる明るい施設づくりを目指して!!

㈲寿ランド　常務取締役　平良（たいら） 寿成（としなり） 氏

「お客様は、生後半年～一〇四歳の方までいます」と、爽やかな笑顔で話すのは、南風原町にある㈲寿ランド・常務取締役の平良寿成氏。現在、二代目として目標に向けて精力的に学び、行動しています。

寿ランドは、創業三十三年目。スイミングスクールから始まり、現在は高齢者向けデイサービス、老人ホーム、障がい児児童デイサービスと、幅広く事業展開し、地元の方に愛されている企業です。

寿ランドを大好きなのは地元のお客様ばかりではなく、スタッフもこの会社が大好きです。長くスクールに通っている会員さんの年齢による変化に気づき、「日常の中での困っている」ことを解決したいとの社員の声がきっかけで、スイミングスクールから他事業を増やしていきました。

創業者である父がその声を取り入れ事業展開していた当時、平良さんは営業をしたくて不動産会社に勤めていました。たまたま帰省中に会社に寄った所、平良さんを子どもの頃から知る会員さんたちは口を揃えて「この会社なくさないでよ」と言われ、平良さんは会員さんたちの強い想いに応えるため、六年前に帰沖し寿ランドに勤め始めました。社員も長く勤めている方が多く、社員・会員さん共に言いたいことも言えるアットホームな環境で、自然な形で楽しみながら信頼関係が築けていることが分かります。

「多世代コミュニティの場として明るい施設づくりを目指し、障がい者・健常者・小さい子どもから お年寄りまで、多世代が交流できる。寿ランドで過ごす子どもたちが、学び、成長して、将来活躍できる人に育つ環境づくりをしていきたい」と社会教育の想いまで取り入れた素晴らしいビジョンを話されました。事務所に掲げられた経営理念には、「エンジョイライフをサポートし　地域社会へ貢献する」という言葉があり、平良さんは「皆さんが健康で長く生活できることが本当の幸せと思っています」と、経営理念に込められた創業者の想いは、二代目へと引き継がれているのだと感動しました。

施設の外観

同友会への入会は、支部例会に参加したのがきっかけ。大学卒業後すぐ県外で就職したため、沖縄には学生時代の友人しかなく、同友会で経営の話をできる仲間ができたのが嬉しかったそうです。

プライベートでは、とにかく楽しい事が大好き！という平良さんの趣味はゴルフ。月に一度はプレーを楽しんでいます。三十六歳で爽やかなイケメンにして、独身。（ご紹介歓迎です♪）

今月は、年に一度開催している社員旅行があり、外国人雇用に向けた視察を兼ね、ベトナムへ行くそうです。

寿ランドは随時見学も大歓迎。健康増進を考えている皆さん、ぜひ訪ねてみて下さい。（㈱中村印刷・知念由紀）

2019年 合同入社式・新入社員研修会

とき　4月2日（火）10:00～
4月3日（水）17:00

ところ　ユインチホテル南城
（住所：南城市佐敷新里1688）

参加費　お一人　20,000円
（付添者は10,000円）

※対象は、新卒採用以外でも構いません。（中途採用も可）
※詳細については事務局へお問い合わせ下さい！

第33回 定時総会

日時　4月26日（金）16:00～20:30
会場　ハーバービューホテル
内容　第Ⅰ部「総会議事」（16:00～17:30）
第Ⅱ部「記念講演」（17:45～19:00）
第Ⅲ部「懇親会」（19:15～20:30）
テーマ　「人を生かす経営とは」で激変の時代を克ち進む
～企業経営と同友会運動は不離一体～
講師　エイベックス㈱　会長
加藤明彦氏（中同協副会長・愛知同友会）

《会社概要》

㈲寿ランド
常務取締役　平良（たいら） 寿成（としなり） 氏
〈南部支部〉
所在地／南風原町字宮平499
ＴＥＬ／098-889-5775
事業内容／スイミングスクール、介護・福祉
ＵＲＬ／https://www.kotobuki-land.net/

茶論

如月や身を切る風に身を切らせ／真砂女▼新年早々衝撃的なニュースが流れた。国内外の投資会社によるオリオンビールの買収だ。経済のグローバル化は、地方でも着実に進んでいる。東南アジアの中心に位置する沖縄もその渦中にある▼混沌とする東アジアの政治情勢のなか、日本の課題も山積だ。米中貿易摩擦、北朝鮮の核廃棄と米朝対話、韓国との不協和、ロシアとの北方四島返還と平和条約締結など、沖縄の政治、経済、特に観光に与える影響は大きい。先の見えない時代の舵取りが大事だ▼参考になるのが、核戦争が現実味を帯びたキューバ危機でのケネディの対応だ。彼は側近に「悪魔の代弁者」と言われる役割を命じる。ローマカトリックの聖人認定に徹底的に懐疑的意見を言う人のことだ。多数派に対してあえて批判や反論する。それが核ミサイルの先制攻撃から海上封鎖へと戦術が変更され、ソ連のミサイル撤去と続くことになる▼知的水準が高くても似たような意見や傾向性では、見落とされる視点も多い。多様な意見を尊重する同友会流の侃侃諤諤の議論が組織の意思決定の質を高めるのだ▼春風や闘志をいだきて丘に立つ／虚子（作古）

2019年 新春のつどい
風土の中で人が育つ
人間尊重に基づいたリーダーシップを

仲村 巌 氏

二〇一九年新春のつどいが一月二十四日、パシフィックホテル沖縄にて二八七名の参加で開催されました。

第一部「記念講演」では、日産ディーゼル工業㈱・元社長の仲村巌氏を講師に、「志と信念 真のリーダーは人を生かす ～私の経営いろはかるた～」をテーマに講演いただきました。

第二部「新年懇親パーティ」では、壇上にて南部支部幹事長の知念由紀さんと講師の仲村さん含め、各支部長による書道一文字書きパフォーマンスで始まり、その後、正副代表理事も加わり鏡開きが行われ、華やかな宴が幕開けしました。懇親会では、二〇一八年の同友会活動と青全交in沖縄のエンドロールが上映され、当時の感動や苦労が蘇りました。

記念講演の様子

〔講演要旨〕

仲村さんは、一九四二年那覇市に生まれ、東京大学卒業後の一九六六年に日産自動車へ入社。経営企画室長、執行常務を経て二〇〇二年に日産ディーゼル工業の社長に就任されました。日産入社時には、アメリカの技術学会へ論文を提出するなど与えられた仕事以上の成果をあげます。「仕事をマスターすることで自信にもなり、他の分野でも活かすことができる。自分の技術を磨くことによって業績があがる」との言葉がとても印象に残りました。

設計主任時には、部下を数十名かかえ人間尊重に基づいたリーダーシップを発揮。人を知り、その人の潜在能力を見極めるようなマネジメントを実践します。

また、ライバル企業との差を埋めるため、マーケティングに力を注ぎながら、「風土の中で人が育つ」として若い課長を集め風土改革を行います。そして社長就任。社員の雇用を守りつつ、業界慣例の割賦販売方式をやめることによって財務を劇的に改善し、その経営手腕が高く評価されました。自ら社長定年制を定め、二〇〇七年に退任されます。

現在、沖縄の未来を託せる若者を応援しており、「ロッキーチャレンジ賞」として毎年賞金を寄贈しています。平成最後の年を締めくくるにふさわしい集いとなりました。（岩田税理士事務所・岩田進司）

八重山支部 新春の集い
外国人雇用の実情を学ぶ

一月十六日、八重山支部「新春の集い」が二十九名の参加で開催されました。

去年に引き続き「人手不足」が流行語大賞の候補にあがりそうな中、「変化と対応～外国人の雇用～」というとてもタイムリーなテーマで、㈱ヒーモリ・社長の浅井誠氏にお話を頂きました。

モンゴル出身の浅井氏が、日本での車の整備工から現在の外国人人材紹介の仕事を始めたいきさつ、外国人雇用の際の様々な勤務形態、採用する場合の注意点など、実際の事例を交えた話に参加の方々からたくさんの質問が上がりました。最初の頃は紹介した人材が「勝手に休む」「電話にでない」などの問題がありましたが、「出社率九十％を達成したら月一回の旅行を企画して改善した」などの工夫も紹介して頂きました。

熱心に聴く参加者

しかし、日本に働きに来てくれる外国の方は最初にかなりの額の借金をしており、それを返すために賃金の高い東京や大阪に行ってしまうという現状に、地方の不利な部分を感じえない場面もありました。

今回は八重山支部初となる「新春の集い」の広報として、会員の協賛広告入りで大きく地元新聞に掲載し、八重山で同友会の取組みを広めることができました。

企画から浅井氏への依頼、そして広告の立案調整と年末年始と走り回った「熱い」新里順子支部長を筆頭に、二〇一九年も八重山支部は会員の皆さまと共に発展を目指します。（㈲ＰＬＡＮｔＰＬＡＮ・宮良高彰）

碧の会＆那覇支部
年初めの大名刺交換会
同友会の活用法を学ぶ

一月十五日、沖縄ホテルにてランチを兼ねながらの「碧の会」と那覇支部合同で大名刺交換会が四十名の参加で開催されました。

生天目千加子碧の会部長の開会挨拶に始まり、会員魅力体験報告は㈱共栄環境・社長の下田美智代氏の体験報告へと続きました。数多くある同友会活動を分かり易く説明し、学んだことを話されました。

三名の新会員の方には、真栄田一郎代表理事より同友会バッジ贈呈と新会員挨拶があり、その後、集合写真や参加者全員による名刺交換、グループトーク・企業ＰＲなど行いました。

「わったぁ会社の未来予想図」をテーマにした討論では、会歴の長い会員からは「同友会での学びをどう会社に活用しているか」、ゲストや新会員の方からは「今後どのように同友会を活用していきたいか」など、活発な意見交換が印象的でした。

最後は座間味亮那覇支部長の挨拶で締めましたが、ここから新しい仲間が増え、企業間のコラボが生まれるか楽しみですね！（あいエフピー・大浜博文）

第47期 経営指針作成講座 スタート

一月十八日、沖縄産業支援センターにて、第四十七期経営指針作成講座のオリエンテーションが二十六名の参加で開催されました。

経営指針作成講座を受講するうえで大切な「労使見解」は㈱丸忠・社長の喜納朝勝氏、「企業変革支援プログラム」は㈲葬禮社・社長の比嘉良太氏、「財務会計」は宮沢財務管理オフィス㈱・社長の宮沢賢氏を講師に、一月二十五日からスタートする講座で受講生がスムーズに講義を行えるように事前学習会を行いました。

今期は補講も含め、全五講開催します。「経営指針って何？」と気になる方は、ぜひ参加してみませんか？（事務局）

真剣に学ぶ受講生

社労士・コンサルタント
青山喜佐子の
知って得する
シリーズ144

社員の力で働き方改革

働き方改革は、何のために、誰が行うのでしょうか。

働き方改革の目的と目標って何でしょう？

国が掲げる主な目標は「長時間労働の削減、労働力不足の解消、雇用形態にかかわらない公正な待遇」です。

私たち企業の現場では、現実的な課題解決に取り組むことですね。経営者・管理者は改正法に基づいて、規定等働きやすい職場づくりの社内体制を整備すること。法令順守のための長時間労働の削減と生産性向上が課題となります。

それでは社員は何をすれば良いのでしょうか。社内で検討された働き方について、社員自身が働きやすいしくみを考え、実行することです。働き方改革を、経営者任せにするのではなく、社員が積極的にアイデアを出し合うことです。

仕事の効率や時間外労働の削減だけを目標にするのではなく、お互いの仕事の理解や協力体制について「対話」を積み重ねることも重要です。

例えば営業部門であれば、「お客様とのコミュニケーションの向上」「訪問営業のターゲットの適正化」「営業資料の作成」等。総務部門では、「資料作成の改善」「後輩のレベルアップ」などがありました。

社内や社外での対話は、離職率を改善すると、主張している専門家もいます。

働き方改革は、「働き続けられる職場づくり」を目指して全社員でスタートすることですね。

〈プロフィール〉
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ
TEL/098-870-6686

青山喜佐子（あおやまきさこ）
（社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ所長）

IT津梁まつり2019
来場者一万一千名！
進化するIT技術で参加者を魅了

一月十八、十九日、浦添市民体育館で「IT津梁まつり」が開催され、一万一千名を超える来場がありました。「IT津梁まつり」は恒例のイベントとして定着し、今年も学校に加え企業も多数出展。子供から大人、企業向けの幅広い展示がありました。

学校出展では、課題解決型も見受けられ、沖縄工業高校の水耕栽培IoTシステム、伊良部高校の地域課題に基づく問題提起、琉球大学の家電や電力のコントロールシステム（IoT）、沖縄職業能力大学校のゴミの収集管理装置など、直ぐにでも役立ちそうな展示がありました。

プログラミングを学ぶ子供達

企業出展ではVRを利用した消火訓練などAIやIoT、VRといった展示で興味をひきました。

ゆいま～る部会の情報委員会は、企画運営で多くの会員企業が裏方として参加しました。CoderDojo（ボランティア団体）との共同運営によるプログラミング教室は、小学生を中心に六十名が参加。また、「IT企業学校交流会」も開催しました。講師に（一社）沖縄STEM教育センター代表理事宮里大八氏をお招きし、これからのIT教育の在り方を議論しました。

IT津梁まつりは自分や社員の子や孫の将来、また社員教育を考える絶好の機会です。来年はぜひご参加を。ITに強い経済団体を目指しましょう。（㈱夢づくり沖縄・新井良直）

那覇支部経営基礎講座第1講
会計は学問ではなく技術

一月二十八日、那覇支部経営基礎講座第一講を二十六名の参加で開催しました。「経営計画に大切な資金繰りとは～数字から自社の未来をつくる～」をテーマに、宮沢財務管理オフィス㈱・社長の宮沢賢氏の講義が行われました。

「会計は学問ではなく技術。難しいと考えるのではなく、コツコツと続けていくことがとても大切。自社の未来の役に立つ経営計画はあって然るべきもの。借入のために作成した急場しのぎの経営計画ではなく、理念とビジョンが描かれた計画を持ってほしい」と、経営指針作成講座の受講を促されていました。

ひとつの事例として、これまで資金繰りで苦しんでいた会社が、適切な資金調達と計画を行い、数年後には預金平均残高をアップさせ、資金繰りを安定させた事例が紹介されました。適切な資金の持ち方の目安は、「固定費の三～六ケ月分、月商分、等」です。

那覇支部経営基礎講座は、後期も第五講まで用意されています。興味のある講座へ是非お越しください！（㈱ゴールドオフィス・當銘将也）

社長・社員共育塾第6講
企業の永続的な存続は社員の成長が不可欠

小暮 恭一 氏

一月十五日、沖縄産業支援センターにて社長・社員共育塾第六講が二十一社八十九名の参加で開催されました。「理念経営の実践」をテーマに、㈱エム・ソフト・会長の小暮恭一氏が報告されました。

小暮氏はソフトウェア企業で十三年働いた後、三十七歳で起業しました。起業後、二度の経済危機を迎えましたが、企業の理念や価値観の共有と、人材の採用と育成の「同友会型企業づくり」を実践したことで乗り越えた具体的な話をされました。企業の永続的な存続には社員の成長が不可欠で、社員の採用と育成が理念経営で最も重要であること。また、社会にとって役割があるならば企業は存続するし、経営者の寿命が会社の寿命であってはならない。だからこそ採用と育成が企業の命運を握る戦略だと話します。

最後に、人は「よい会社」でないと採用できない、だからこそ「よい会社づくり」を行っていると話されました。（事務局）

マリの健康講座 その15
㈱BELLz 取締役　星　真理

日光に当たると骨折しにくい?!

ビタミンD欠乏症の骨軟化症・くる病は、第二次世界大戦前後の一九三九～一九四五年頃に流行しましたが、食事事情の改善と共に減少したので、過去の病気と思っている方も多いかも知れませんが、実はここ十数年で骨軟化症・くる病患者が急増しています。この六年で〇～十五歳のくる病患者数が三倍以上に増え、母乳栄養の赤ちゃんの七五％がビタミンD欠乏だと言われています。

健康維持に必要な血中ビタミンD濃度は三〇～六〇mgです。普通は日光に当たる事で皮膚から作られますが、その過程では鉄などのミネラルも必要ですので、鉄欠乏性貧血が元々ある人は作られにくいとも言えます。また、美白美白と言って日光に当たる事を極度に嫌う方もビタミンDが作りにくくなってしまいます。国立環境研究所の実験で、毎日ビタミンD五・五μg：二二〇IUを作るために必要な時間を測定したところ、札幌では七六分、つくばでは二二分、那覇では八分でした。八分なら何とかなりそうではありませんか？

一方、食事から摂取するとしたら、鮭の切り身約一〇〇gで約四〇μg（一六〇〇IU）あるのに対して、植物性で含有量の高いきくらげでも約〇・〇八μg（三・二IU）しかありません。残念ながら肉類には殆どありませんので、食事から摂るには魚をしっかり食べる事が大切です。

ビタミンDはカルシウムの吸収に欠かせない栄養ですので、不足するとカルシウムの吸収が悪くなる上に、骨から必要以上にカルシウムを取り出してしまい、骨粗鬆症の原因にもなります。

それ以外にも、細胞の分化増殖など、全身で大きな働きをしています。以下の症状や病気がある方は、もしかしたら背景にビタミンD欠乏があるのかも知れません。

アルツハイマー、自己免疫疾患、高血圧、リーキーガット症候群、アレルギー性疾患、各種がん、脂質異常症、糖尿病、妊娠糖尿病、うつ病、サルコペニア、子宮内膜症、不妊症、早期産、多発性硬化症。

星 真理
1961年生まれ
神奈川県三浦郡葉山町出身
㈱BELLz 取締役
28歳の時に分子整合栄養医学と出会い、29歳で分子栄養学研究所(於東京)公認ヘルスインストラクターの資格を取得
大学での講義や県内外各地でのセミナー講師、沖縄県警察学校での講師などで活躍中

わが社のポリシー 第279回
㈱プログレス31
代表取締役　金城（きんじょう） 隆子（たかこ） 氏

金城 隆子 氏

困っていることをビジネスに！ 頼りにされる企業づくり

運送業の社長という一般的なイメージとは全く違う、小柄で可愛らしい女性社長、㈱プログレス31・社長の金城隆子氏。二〇〇三年五月に設立し、今年で十六年目を迎えます。

現在は、四t車十台を稼働させ、海運会社からの荷物をメインに県内の集配を行っています。天候によって動きが左右されることもあり、天候や季節的な需要にも柔軟に対応できる、イベント関係の資材や引越関連の荷物・建設関連の現場の輸送などの対応も徐々に増やしていきました。

少し前まで、現場も経理も全て一人でこなしていたため、経営の勉強が出来ていない状況でした。しかし、従業員から「何かお手伝いする事ありませんか。」と声をかけてもらえたことをきっかけに、現場を徐々に任せるようになり、経営面を意識するようにしました。

「思いやりを大切にする」ことを一番に心がけており、経営理念に掲げている「感謝のこころを忘れず、誠意と誇りを持って社員一丸となり感動と喜びを発揮します」は金城社長の想いが特に詰まっていました。

運送だけではなく独自のコミュニケーションワークを作り、頼りにされる企業を目指して行きたいと未来のイメージをしっかり描かれていました。

今年は、「整」を軸に、事務所の建て替え、意識して行動することを決意していました。

最後に「困っていることをビジネスにしたい！」。その言葉の裏には、頼りにされる企業づくりを目指している金城社長が考える、今後の会社の方向性を見据えた言葉だと感じました。（有おおば・新城恵梨花）

㈱プログレス31
代表取締役　金城（きんじょう） 隆子（たかこ） 氏
〈中部支部〉
所在地／西原町字森川97-1
ＴＥＬ／098-882-8570
事業内容／一般貨物運送業
ＵＲＬ／https://www.progress31.com/

2018年10−12月期 景況調査の結果

足下の景況感を示すＤＩは15期連続プラス超だが人件費増加、原材料費等の増加により２期連続後退。先行きはわずかながら改善の見通し。

2019年１月23日に発表された2018年10～12月期景況調査の結果を要約して掲載します。（詳しくはホームページに掲載されています。

回答企業

（１）回答企業　174社　回答率　42.1%（413社中）

（２）業種別　（　）は実数

製造業	17.2%（30）	建設業	13.2%（23）
流通・商業	26.4%（46）	サービス業	37.4%（65）
情報産業	5.7%（10）		

（３）規模別　従業員数　＜正規＞平均　34名
＜臨時・パート・アルバイト＞平均18名

①況判断は後退するも15期連続プラス超。建設業と流通・商業以外の業種で後退するも、引き続き全業種でプラス超。前期調査での見通しと比べると大幅な後退となっている。要因として下記の点があげられている。
イ）原紙価格の値上げ要請と人件費増（製造業、紙・紙加工品製造業）
ロ）人材不足により、受注調整。仕事を断っている。（建設業、職別工事業）
ハ）原油の高騰が大きく影響、人件費の増加（流通・商業、運送業）
ニ）人材不足に伴うサービスの低下（流通・商業、事務用品販売）
ホ）前半は台風、地震等の自然災害の影響、新規参入の増加により価格競争が激化、ネット販売の普及により個人旅行がトレンドとなり、旅行社が苦戦しており、レンタカーパック商品伸び悩み。レンタカーもネットで選ぶと価格優先となり苦しい状況が続いている。（サービス業、レンタカー業）
ヘ）人材不足によりサービス量を増やせない。施設志向により、在宅利用者が減っている。（サービス業、介護福祉事業）
②売上高ＤＩは後退するも、前期に続きプラス超。建設業と情報は大幅な悪化でマイナス超に転化。
③経常利益ＤＩは大幅に後退するも、かろうじてプラス超を維持。製造業、流通・商業、情報はマイナス超に転化。
④資金繰りＤＩは後退するも、前期に続きプラス超。建設業以外の業種で後退し、情報は水面上、サービス業はマイナス超に転化。
⑤経営上の問題点は「従業員の不足」、力点は「新規受注（顧客）の確保」が第１位。
⑥先行きは建設業と流通・商業以外の業種で後退予測となるもわずかながら改善の見通し。

アットホームな雰囲気が魅力 島唯一のボウリング場

平良 貞典 氏

だっからよ～ 会員ホット情報 今おすすめだよ！

ちびっこの投球に目を細める家族連れ、恒例のボウリング交流会で凌ぎを削る宮古支部、多くの人でにぎわうのは、創業四十八年で宮古島唯一のボウリング場「宮古ボウリングセンター」。「宮古島の観光資源といえば世界一キレイな海ですが、天候に左右されず、大人数で盛り上がることができるのはボウリング。うちは六十台収容の大型駐車場完備ですからね」と笑顔で語るのはフロア責任者の平良貞典さん。

ゲーム代は、大人四〇〇円、小学生以下三〇〇円と格安。さらにネット予約割引もあります。

同センターは、本島のボウリング場とは一味違うアットホームな雰囲気が魅力。普段から積極的なコミュニケーションを心がける平良さん。観光で来られた方には、地元の人しか知らないイチオシ観光スポットをこっそり教えてあげることも。

最近では奥様も手伝ってくれるようになり、広大な駐車場を利用したフリーマーケットを企画。地域の皆さんから喜ばれています。こうした情報はインスタグラムで積極的に発信しています。

今後は若者の出会いの場として「ボウリングコンパ」、小さい子供にボウリングの魅力を体感してもらうための「体験ボウリング」などもやってみたいとのこと。

宮古島を訪れる際は、ぜひ、観光プランのひとつに「ボウリング」を組み込んでみませんか？（事務局）

大きな看板が目印

宮古商事㈱
〈宮古支部〉
代表者　平良（たいら） 貞典（さだのり） 氏
所在地／宮古島市平良下里1259-5
ＴＥＬ／0980-72-4141
事業内容／ボウリング場
ＵＲＬ／http://miyako-b.com/

中部支部30周年記念イベント 子供の居場所をつくり、熱中できる機会を

一月十三日、晴れ渡った天気の中、うるま市民劇場響ホールにて中部支部三十周年記念イベント「子どもたちの可能性を見つめ　未来へ羽ばたこう」が五一〇名の参加で開催されました。

九月に台風のため延期となった経緯がありましたが、会場は多くの子どもたちの姿もあり盛況でした。

第一部パネルディスカッションでは、パネリストに沖縄県子ども生活福祉部子ども未来政策課・課長の喜舎場健太氏、中部地域障害者就業生活支援センターにじ・施設長の幸地睦子氏、（特）沖縄ハンズオンＮＰＯ・地域プログラムコーディネーターの宮里ジュン氏を迎え、コーディネーターの㈲仲松ミート・執行役員の仲本和美氏が進行。現場のリアルな報告は聴衆一人ひとりの胸を打ち、地域と共に歩む私たち中小企業家こそ取り組める課題も多いことを認識させられました。

肝高の阿摩和利

第二部では現代版組踊『肝高の阿摩和利』スペシャルアトラクションを上演しました。生き生きと歌い踊る子どもたちはとてもダイナミック。居場所を作り、熱中できる機会を私たち大人がつくることが大切ということを気付かされた舞台でもありました。

長い準備期間を経て意義ある三十周年イベントを開催した中部支部の皆さんの実行力にも感服したイベントでした。

（㈱カリタス・根橋理香）

同友会の魅力を発信！

一月二十一日、ザ・ハナテラスにて県内報道関係者との懇談会を、四社の報道関係者含め十一名の参加で開催しました。

毎年提出している政策「要望・提言」や景況調査などの同友会活動の紹介と同友会の理念について伝えることができました。その後、県内の経済動向や人材不足など情報交換を行いました。

今後も定期的に開催し、同友会の魅力を伝えます。（事務局）

読者の声

同友会に入会して四年目、会員の方々と接する度に様々な気づきがあり、とても刺激を受けています。日常業務や育児に気を取られ、「ニライみらい」を読んだことがなく、これを機に読んでみました。

各支部の取り組みで、会員の経営体験報告や、「知って得する」の情報など、「ニライみらい」を通して知り得た情報は、とても興味深い内容で、自らの経営にとてもためになると感じました。

これからも学べる紙面として活用していきたいと思います。（具志頭工務店・具志頭孝也）

＜南部支部会員＞

文進印刷株式会社
本　社／〒901-0416　沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706−4
TEL (098) **996−3356** (代)　FAX (098) **996−3357**
那覇営業所／〒902−0074　沖縄県那覇市字仲井真201番地18
TEL (098) 855−2323 (代)　FAX (098) 996−3357
浦添営業所／〒901−2111　沖縄県浦添市経塚８１１−１４
TEL (098) 879−9303 (代)　FAX (098) 996−3357
宜野湾営業所／〒901−2214　沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F
TEL (098) 898−1055 (代)　FAX (098) 996−3357
沖縄営業所／〒904−2165　沖縄県沖縄市宮里２丁目１番３号
TEL (098) 937−8607 (代)　FAX (098) 996−3357
糸満営業所／〒901−0303　沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102
TEL (098) 994−5777 (代)　FAX (098) 996−3357
うるま営業所／〒904−2215　沖縄県うるま市具志川みどり町3-19-5
TEL (098) 973−5676 (代)　FAX (098) 996−3357
平成19年２月６日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006（プライバシーマーク 認定番号24000306 (04)）を取得いたしました。